



平成 19 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ゴ ト ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 後 藤 行 宏
(JASDAQ・コード 9817)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 兼
総 合 企 画 部 長 土 橋 文 彦
電 話 0 5 5 - 9 2 3 - 5 1 0 0

特別損失の発生および平成 20 年 2 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の中間期および通期におきまして下記のとおり特別損失が発生することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 4 月 16 日付「平成 19 年 2 月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

当社は、平成 19 年 2 月期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、会計処理を行ってまいりました。当期中間決算にあたり下期に予定される大型店舗の出店に伴い、既存店舗の整理・統合によるもの、また、店舗の移転、使用目的の変更により、営業店舗および転貸店舗の建物等の減損損失で 87 百万円の発生が見込まれることとなりました。

また、店舗施設の除却等の損失額 9 百万円の発生により、特別損失として総額 96 百万円計上することとなります。

2. 平成 20 年 2 月期中間業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 の 業 績 予 想 (A)	7,611	320	105
今 回 修 正 (B)	7,430	155	△18
増 減 額 (B-A)	△181	△165	△123
増 減 率 %	△2.4%	△51.6%	－%
(ご参考) 前 期 実 績	7,599	303	△130

3. 平成 20 年 2 月期業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前 回 の 業 績 予 想 (A)	15,819	670	224
今 回 修 正 (B)	15,224	335	19
増 減 額 (B-A)	△595	△335	△205
増 減 率 %	△3.8%	△50.0%	△91.5%
(ご参考) 前 期 実 績	15,677	654	11

4. 修正の理由

(1) 中間業績について

売上高に関しましては、ゲーム事業が好調に推移いたしました。TSUTAYA 事業の販売用 CD・DVD の売上が低調のまま推移いたしました。また、ファッションその他事業では天候不順等により売上の予想を下回りました。結果、売上高は予想を 2.4% 下回る 7,430 百万円となりました。

経常利益に関しましては、155 百万円と当初予想の 320 百万円に対し 51.6% 下回ることとなりました。要因といたしましては、売上高の減少により 91 百万円の粗利額の減少、TSUTAYA・BOOKOFF 事業での店舗の大規模改装、店舗運営力強化のための販売員確保に係る人件費等の経費増加 57 百万円によるものであります。

中間純利益に関しましては、純損失 18 百万円と当初予想より 123 百万円減少することとなりました。要因といたしましては、店舗の移転、使用目的の変更により営業店舗及び転貸店舗の建物等の減損損失で 87 百万円、店舗施設の除却等の損失で 9 百万円発生したことによるものであります。また、貸倒引当金戻入益として 6 百万円の特別利益が発生しておりますが、法人税、住民税及び事業税の見込額が 33 百万円増加したことによるものであります。

(2) 通期業績について

売上高に関しましては、下期において不採算店舗の閉鎖もあることから当初予想より売上高は減少するものと思われ。結果、15,224 百万円（前回予想比 3.8% 減）を見込んでおります。

経常利益に関しましては、店舗の移転統合費用が新たに発生すると見込まれ、当初見込額を下回る 335 百万円（前回予想比 50.0% 減）を見込んでおります。

当期純利益に関しましては、上期の特別損益の状況を踏まえ、当期下期での大きな発生はないものと思われ。結果、特別利益 21 百万円、特別損失 116 百万円で当期純利益は 19 百万円（前回予想比 91.5% 減）を見込んでおります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上